

中国ソフトウェア産業とCAC 上海



CAC 上海 総裁 程 斌
(チェン、ビン)

1. はじめに

2000年7月、CACグループの海外事業戦略の一環として、CAC上海が設立に至った。本稿では、まず中国ソフトウェア産業の最新事情を紹介した上で、CAC上海の設立趣旨、業務展開のシナリオ、および将来の展望について述べる。CACグループの一員として、CAC上海の中国における事業ビジョンを、皆さんと共有できれば幸甚である。

2. 中国ソフトウェア産業

中国が改革開放政策を打ち出してから20年間にわたって、GDPの年平均成長率は9.8%（近年7～8%）を維持して来た。その間、多くの産業が飛躍的な発展を遂げている。例えば、通信産業においては、固定、携帯電話の数が合わせて2億台を超え（固定電話1.35億台、携帯電話6500万台）、今ではアメリカに次ぐ世界で第2のマーケットとなった。電気製品の分野でも、中国は世界市場に占める割合がダントツでトップである。これらの産業と比べ、ソフトウェア産業はスタートを切ったばかりであり、今後の中国経済の成長に伴って、そのポテンシャルは計り知れないものがある。

以下に中国ソフトウェア産業の状況と中国インターネット事情のデータを挙げる。中国IT産業の理解の一助になれば、幸いである。

(1) 中国ソフトウェア産業（1999年度：単位 日本円）

- ・ソフトウェア産業売上高：2,300億円
- ・ソフトウェア関連会社：5,000社（売上高130億円以上の企業は3社）
- ・IT技術者数：47万人（ソフト開発15万人）

・ソフトウェア輸出額：143億円

(2) 中国インターネット事情（2000年7月）

- ・インターネット人口：1,690万人
- ・インターネット接続PC台数：650万台
- ・ドメイン数（CN）：10万
- ・インターネット・キャパシティ（国際間）：1,234M
- ・インターネット・サービス売上高（1999年）：400億円

2.1 ソフトウェア産業の現状

現在は、着々と情報産業の発展を推進している中国であるが、以前は工業の現代化が最優先課題として位置付けられており、情報産業に対する社会的な認識度が低く、それほど重要視されていなかった。しかし、21世紀を迎えようとしている現在、ソフトウェア産業は世界各国にとって、経済の発達、および社会の進歩を推し進める原動力となり、グローバル・ビジネスの焦点にもなっている。中国政府は近年、ソフトウェア産業の重要性に気付き、工業の現代化と情報の現代化を同時に進める必要がある、との結論を出した。IT産業を統括する政府機関である中国情報産業省が、近年における一連の具体的な政策（人材育成計画、税金優遇政策、ソフトパークの建設など）を打ち出し、中国のソフトウェア産業に活力を与えた。

1999年度の中国ソフトウェア・マーケットシェアを見ると、中国企業と外国企業はそれぞれ32.4%と67.6%を占めている。製品の内訳では、外国企業がオペレーティングシステム、データベース、業界別のアプリケーションソフト、ERPパッケージの面においては優勢であり、中国企業は財務管理パッケージ、Anti-Virusソフト、中国語関連ソフトの面において優勢を保っている。市場の特徴として、中国家庭用PCの普及につれ、ファミリー向けの教育、ゲーム、家政管理などのソフトウェアが急激な成長を見せてい

る。産業の育成に当たって、中国政府は全国15カ所にソフトパーク（ソフト技術者総数6万人、年間売上高1,433億円）を建設した。ソフトパークはソフト開発に必要なインフラ設備を提供するだけでなく、税金の面でも優遇政策（始業初期2年間免税、3年目半税など）が適用される。これらのソフトパークは今後、中国のソフトウェア産業を支える重要な生産基地となると見られている。

図1に中国のソフトウェア市場規模、図2にインターネットの使用状況、図3にPCの販売台数に関するグラフを示す。

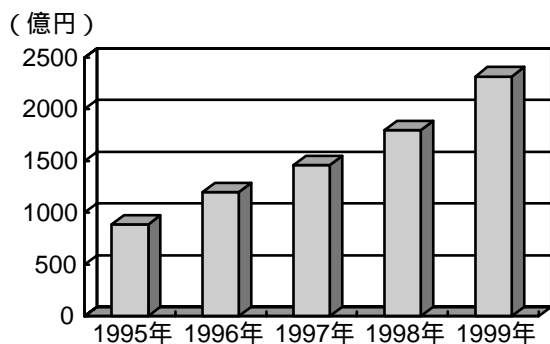


図1 中国ソフトウェア市場規模

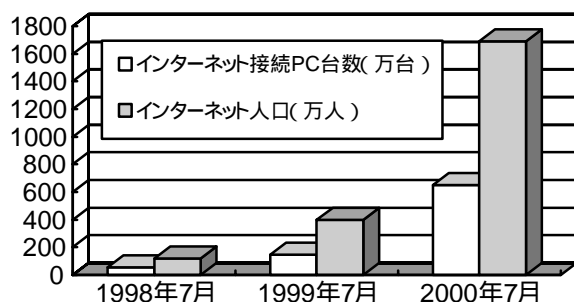


図2 中国インターネットの使用状況

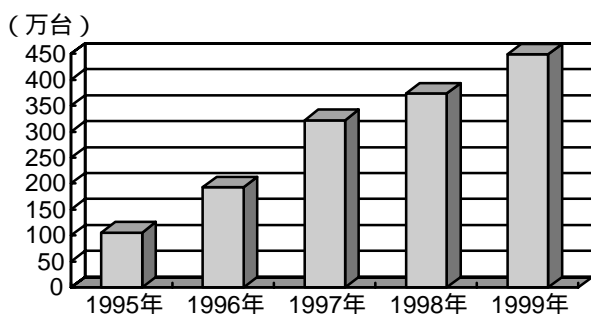


図3 中国PC販売台数の推移状況

2.2 問題点

中国ソフトウェア産業の成長にとって、下記のような幾つかの障害がある。

(1) ハードウェア重視の傾向

中国のほとんどの企業では、IT投資と言えば、コンピュータなどの設備を購入することを意味する。アプリケーション・ソフトウェア開発に割り当てる予算は非常に少ない。目に見えるものの方が価値がある、という習慣的な考えによる影響もあるが、ソフトウェアのパワーを理解している人が少ない。その結果、IT産業は依然としてハードウェア中心に推移している傾向はある。

(2) 資金不足

ベンチャー・キャピタルは、この数年で中国に現れるようになったが、ソフトウェア関連企業への資金提供のチャンネルは未だに確立されていない。良いアイデアがあっても資金不足のために製品化ができず、たとえ製品になっても、小規模な販売にとどまるケースが多い。中国では、ソフトウェア会社のほとんどが従業員50人以下と規模が小さく、外国の企業と競争できる資本力を持っていないため、国内市場の大半が外国の製品に占められている。

(3) 違法コピーの氾濫

中国政府は過去数年間にわたって、ソフトウェアの違法コピーを厳しく取り締まり、それなりに大きな成果を挙げた。しかし、民間レベルでは、知的著作権に対する認識はまだ低く、違法コピーが後を絶たない。そのため、ソフトベンダーはR&Dに対する投資の意欲が低く、ソフトウェア産業の発展にとって大きな障害となっている。

2.3 2005年の目標

中国ソフトウェア産業協会が発表した2005年の目標を、以下に挙げる。

①市場の目標

年間売上高を2.3兆円（1999年度の約10倍）にする。これは、世界ソフトウェア産業の総売上げに占める割合を、現在の1%から2.2%へ増やすという計算になる。また、国産ソフトおよび関連サービスが、国内市場の60%を占めるようにする。

②産業の目標

年間売上高130億円以上のソフトウェア企業を10社以上創設する。

③輸出の目標

1,100億円（1999年のインドにおけるソフト輸出額の約5分の1に相当）とする。

④情報セキュリティの目標

国家の重要機関が、原則的に国内で独自に開発されたセキュリティ・ソフトを使用する。中国政府は、情報のセキュリティに関して非常に敏感で、政府機関ではマイクロソフトの製品より、オープンソースのLinuxなどが優先されている。

3 . CAC 上海について

3.1 設立の趣旨

リソースの有効利用はビジネスにとって、最も重要な要素の1つである。21世紀も間近な現在、世界は経済・情報の国際化が急速に進み、リソースに対する見方も大きく変わってきている。インターネットの普及によって時間と地理的な障害がなくなり、世界的なリソースの配置が、より明らかに把握できるようになり、従来はリソースとして考えられなかったものも利用できるようになった。それを活用することによって、大きなアドバンテージが得られる。

近年、CACの事業規模の拡大につれ、人的リソースの活用に関しての、長期的かつ戦略的なビジョン明示が求められている。従来の分散した多数の協働会社に依存する方法では、ノウハウの蓄積、品質管理の一元化、コストダウンの追求などに限界があるため、新しいビジネスモデルの確立が必要と考える。

一方、近年のアジア諸国の成長には目覚ましいものがある。中でも中国の持つ巨大なマーケットは世界的に注目されている。経済発展の時系列で比喻すると、中国はちょうど日本の二十年前あたりに位置しており、比較的小規模な投資で大きな事業展開が可能な時期と言える。したがって、中国国内のIT市場への早期参入が、今後の事業展開にとって非常に重要な意味を持つと考える。中国IT産業の大きな特徴は、技術者の技術力の高さと層の厚さにある。これらの要素は今後、中国国内のIT産業発展に拍車をかけるだけでなく、インドのような世界市場に向けたソフト生産・輸出の大国へ成長するポテンシャルが非常に大きいことを示している。

そういった背景のもとに、CAC上海は以下の目的により、今年の7月に設立に至った。

- ①CAC上海を本社のシステム開発拠点として位置付ける。コストダウンを追求すると同時に、リソースの提供、ノウハウの蓄積、品質管理の一元化を実現する。
- ②CAC上海がCACグループのアジア拠点として活動し、顧客へのグローバル・サポートをさらに充実させ、CACグループの知名度・影響力を高める。
- ③台頭したばかりの中国ソフトウェア業界において、いち早くシェアを獲得し、中国市場でトップクラスのIT企業を目指す。

3.2 事業展開のシナリオ

事業の立ち上げには、スピードが最も重要と考えている。特に、CAC上海の事業展開の初期段階において重要となるのは、CACグループのネットワークを十分に生かして、早期に事業を軌道に乗せることである。

CAC上海の2つのコアビジネス(オフショア・システム開発と中国国内のIT市場の開拓)は、共にCACの業務に深く関わっている。CAC上海では業務展開の第一歩として、まずCAC向けにシステムの受託開発を計画している。これを実施することにより、CACにとってITリソースを確保できると同時に、事業の拡大、競争力の向上(コストダウンの実現)などの経営効果をもたらすことが可能である。CAC上海にとっても、ノウハウの蓄積、組織の確立、さらに収益による事業拡大の基礎を築くことができる。中国国内のIT事業に関しては、CACグループのネットワークを最大限に生かし、まず中国に進出しているCACの主要顧客に対して、現地システムサポートから実践していく計画である。

情報サービス関連企業にとって、スケール・メリットが非常に重要な要素である。情報産業の初期にある中国では、ほとんどのIT企業は規模が小さく、特に事業展開に関しては企業のリソース規模による効果が大きいと考える。CAC上海が今後、中国のIT市場でどのように活躍できるかは、設立初期から2、3年の成長スピードにかかっているとと言っても過言ではない。

3.3 始動の状況

会社設立の準備は今年の6月からスタートした。7月中旬にはオフィスの内装工事も完了し、実質的にCAC上海が活動し始めた。10月8日現在の社員数は9名。年内に20名程度にまで増員の予定であり、2002年には80名規模にまで拡大する計画である。

本社向けオフショア・システム開発では、既に幾つかのプロジェクトを受注した。オフショア・システム開発には、コミュニケーションと品質が最も重要と考えている。CAC上海では、特に日本語サポートスタッフの導入、品質管理手順の確立に力を入れている。また、来年にはISO9001認証取得も計画している。今後、受注案件を1つずつ確実にこなし、発注側にとって安心して任せられるパートナーへ成長していきたいと願っている。

中国国内のIT市場の開拓では、主に中国に進出している外資系企業をターゲットとしている。中国のWTO加盟が間近ということもあり、現在は外資系企業の中国進出がブームとなっている。WTO加盟後、これらの外資系企業は基本的に中国企業と同じ土俵に立たされることになるが、事業の規模、ノウハウ、資金力などの面において、圧倒的に優勢であるため、今後は最も成長の速いセクターになると予測している。オフショア・システム開発で蓄積されたノウハウを十分に生かし、中国に進出しているCACの顧客向けの現地システムサポートを皮切りに、積極的に中国国内のIT市場の開拓を行う予定である。

3.4 将来の展望

CAC 上海は以下のような2つの目標を持っている。

(1) 大規模なオフショア・システム開発センターの構築

CAC 上海は、最終的には本社のみならず、世界向けに大規模なオフショア・システム開発センターを構築する構想を持っている。オフショア・システム開発は大きなビジネスである。インドはアメリカ向けに過去十数年間にわたってオフショア・システム開発を実行し、大きな成果を上げた。今では、年間ソフト輸出額が50億ドルにも上り、世界第2のソフト大国となった。オフショア・システム開発は人件費の差額を利用して、与えられた仕様に従って消極的にプログラムを書くことではない。CAC 上海は、発注側を補う高度な IT スキル、業務知識、およびコンサルティング能力を持ち合わせた、プロフェッショナル集団を目指している。

オフショア・システム開発は野球と同じでピッチャー（発注側）とキャッチャー（請負側）がいる。事業の成否は両者の努力にかかっている。お互いに共通認識を持ち、共通の目標に向かって真剣に取り込むことが大事である。オフショア・システム開発の成功は、両者に戦略的な経営効果をもたらすだけでなく、他の事業に優るとも劣らない大きな利益を与えることになる。

(2) 中国市場で CAC のブランドを確立

中国の情報産業が台頭したばかりの時期に、CAC 上海の設立は絶好なタイミングといえる。中国の IT 市場には、産業発展の初期段階に見られる不規則な一面と、現地特有の事情があるため、CAC 上海は、まず中国 IT 市場の特性を把握することからスタートする必要がある。中国市場は他の国と比べ、かなりダイナミックで不安定な要素も大きいと実感している。事業の展開に当たって、そういった

不安定な要素に耐えられる収益構造と組織構造を構築しなければならない。業界やビジネスの再編成が行われている今、情報サービス関連企業に、大きなビジネス・チャンスが訪れている。今まで、サポート役であった情報サービス関連企業が、業務知識と IT 技術を駆使して産業の中核を担って活躍する可能性が現れてきた。今後、CAC 上海は中国市場に適した新ビジネスを積極的に開拓し、中国市場で CAC のブランドを確立していきたい。

4. おわりに

CAC 上海は立ち上げの第一歩を踏み出したが、独自ですべてを切り開くことが、必ずしも得策ではない。今後、CAC 本社をはじめ、CAC グループの各企業と多方面にわたる交流が非常に重要と考える。各企業間におけるシームレスな協力と支援体制の確立/実施によって、シナジー効果が生まれ、CAC グループ全体の競争力の向上につながると信じている。

最後に、CAC 上海の設立と始動に当たり、CAC の皆様をはじめ、多くの方々に協力と、支援を頂いた。この場を借りて御礼を申し上げたい。

CAC 上海の連絡先は下記の通りである。

会社名：「希亞思（上海）信息技术有限公司」*1

住所：上海市淮海中路138號上海廣場2202 2203室

電話：(86 21)6375 6006

FAX：(86 21)6375 6003

URL：<http://www.cacshanghai.com>

* 1 「希亞思(上海)信息技术有限公司」がCAC 上海の正式社名である。亞、術は中国簡体字であり、それぞれ亜、術を表わす。「希亞思」はCACを表わしている。中国では原則として英字を含む社名は登記できないため、「シーエーシー」に似た発音の漢字を当て、希望を持って亜細亜(アジア)を舞台に活躍する頭脳集団という意味を込めた。「信息」は情報、したがって「信息技术」でITとほぼ同義。「有限公司」は日本の株式会社に当たる言葉である。